



文章の書き方 記事から学ぶ

福井新聞の記者を招いた文章の書き方講座は6月25日、鯖江市の新横江保育園で開かれた。保育士約30人は大切なことから書く新聞記事の特徴を学びながら、文章で子どもの様子を保護者らに伝えるこ

鯖江・新横江保育園で講座



新聞記事から文章の書き方を学ぶ保育士ら＝鯖江市の新横江保育園

保育士30人真剣

つを学んだ。同園はクラスだよりやブログなどを通して、園の取り組みの書き方を学ぼうと企画し

た。NIE(教育に新聞を)活動に取り組み福井新聞社みんなの新聞部の担当者ら2人が講師を務めた。

読み手にイメージしてもらうために、文章を書く際はデータを用いることや、よく観察して具体的に書くことを説明。読者の疑問に答えるように「なぜ」や「どのように」を上手に組み合わせ文章を膨らませてほしいと話した。

保育士らは、同園の過去の記事から「5W1H」(いつ、どこで、だれが、何を、なぜ、どのように)を探すワークショップに挑戦した。南祥子主任保育士は「文章で伝えるには、よく観察して要点を押さえて書くことが大切と感じた」と話していた。

福井新聞社の徳島泰彦NIEコーディネーターは「触れて・感じて・見て・聴いて」と題して新聞を活用した園児の学びについて話した。

(藪内弘昌)